



78,500人

山桜の里 戸赤

平成15~25 村おこしで戸赤に来た人数

平成 15・16 年度に実施した元気な町づくり支援事業に関連した地域活動の現況について町から報告が求められ、表の通り報告しました。
(事業名・事業内容・人数等抜粋)

年度	事業名	事業主体	事業内容	参加人数等
15	元気な町づくり支援事業 県地域づくりサポート事業	戸赤区 (実行委員会)	学習会・多目的広場・シンボルマーク・参道整備・ライトアップ備品・テント類・夜桜まつり	750
16	元気な町づくり支援事業 県地域づくりサポート事業	戸赤区 (実行委員会)	学習会・水車式木地工房・参道整備・山桜祭り・検討会・案内看板・炭焼き小屋	700
16	下郷町林業振興事業	戸赤区 (実行委員会)	白炭窯設置	66
16	戸赤分校閉校式	戸赤・新開区	記念誌・イベント	50
15・16 年度計				1,566
累計				1,566
17	都市地方連携推進事業	下郷町	分校改造・周辺電柱移転	
17	地域提案型雇用創造促進事業	会津地域雇用機会増大促進支援協議会	木地挽き技術講習会	174
17	県地域づくりサポート事業	戸赤区 (実行委員会)	平家物語上演・写真展・ホームページ作成・山桜祭り	12,000
単年度計				12,174
累計				13,740
18	自然体験交流施設運営事業	戸赤区 (実行委員会)		木地共 4,035
18	山桜祭り	戸赤区 (実行委員会)		7,000
18	地域提案型雇用創造促進事業	会津地域雇用機会増大促進支援協議会	木地挽き技術講習会	178
18	県地域づくり総合支援事業	戸赤区 (実行委員会)	木地師サミット	50
18	流域森林総合利用プロジェクト事業	いきいき協議会	造林保育体験交流	70
単年度計				11,333
累計				25,073
19	自然体験交流施設運営事業	戸赤区 (実行委員会)		木地共 3,719

年度	事業名	事業主体	事業内容	参加人数等
19	山桜祭り	戸赤区 (実行委員会)		10,500
19	トイレ設置工事	下郷町	木地工房トイレ兼作業所設置	
19	流域森林総合利用プロジェクト事業	いきいき協議会	阿賀野川ライン下り・造林保育体験交流	91
単年度計				14,310
累計				39,383
20	自然体験交流施設運営事業	戸赤区 (実行委員会)		木地共 3,438
20	山桜祭り	戸赤区 (実行委員会)		8,080
20	木地再生・拭漆技術習得セミナー	会津地域雇用創造推進協議会	木地再生・拭漆技術習得講習会	163
20	FIT交流二地域居住モデル地区実証実験助成事業	戸赤区 (実行委員会)	炭焼き体験	34
20	流域森林総合利用プロジェクト事業	いきいき協議会	さくらセミナー・戸倉造林保育体験・石油の里で交流	136
単年度計				11,851
累計				51,234
21	自然体験交流施設運営事業	戸赤区 (実行委員会)		木地共 3,920
21	山桜祭り	戸赤区 (実行委員会)		8,800
21	県地域づくり総合支援事業	戸赤区	「花豆」特産品開発販売戸赤再生事業	全世帯対象
21	木地再生・拭漆技術習得セミナー	会津地域雇用創造推進協議会	木地再生・拭漆技術習得講習会	181
21	流域森林総合利用プロジェクト事業	いきいき協議会	ジャガイモ栽培・向山戸倉造林保育・挿木増殖試験	125
単年度計				13,026
累計				64,260
22	自然体験交流施設運営事業	戸赤区 (実行委員会)		木地共 2,898

(前ページの続き)



木地工房で お・も・て・な・し

刈林サロン仲間二十五名は、十月二十日、木地工房のしんごろうやすいとんなどのおもてなしに大感激でした



山桜学校で 田舎満喫



ことしもソバ栽培をしている佐藤さん一行は、10月12.13日のべ15人で、ソバ刈をしながら山桜学校で田舎を満喫していきました

年度	事業名	事業主体	事業内容	参加人数等
22	山桜祭り	戸赤区 (実行委員会)		5,300
22	県地域づくり総合支援事業	戸赤区	戸赤コミュニティ再生事業	全世帯対象
22	木地再生・拭漆技術習得セミナー	会津地域雇用創造推進協議会	木地再生・拭漆技術習得講習会	205
22	流域森林総合利用プロジェクト事業	いきいき協議会	キノコ植菌・向山植栽・挿木増殖勉強会・温泉で交流	110
単年度計				8,513
累計				72,773
23	魚掴み・花火大会	戸赤区		75
23	自然体験交流施設運営事業	戸赤区 (実行委員会)		木地共 2,898
単年度計				75
累計				72,848
24	山桜祭り	戸赤区 (実行委員会)		2,000
24	収穫祭	戸赤区		20
24	自然体験交流施設運営事業	戸赤区 (実行委員会)		木地共 2,100
単年度計				4,120
累計				76,968
25	山桜祭り	戸赤区 (実行委員会)		1,500
25	お帰りの祭	戸赤区		32
単年度計				1,532
累計				78,500

【木地の学習No.36】表5、近世においてもこの他に回国したと思われる節がある。殊に明治になると木地師制度が崩壊し、明治政府による新戸籍制度とそれに伴う木地師移籍の対応、惟高親王一千年弔等々の問題に際して、たびたび会津へ出向いて寄付金を集めている事実があるので、仔細に資料を検討すれば回国の回数はずっと増えるのではなかろうか。先触 氏子狩する方面が決まれば、回国目的等を記した氏子狩帳を作成し、回国先にその旨を知らせる「先触」を出す。これは順送りでも木地小屋間を回され、氏子狩の目的や年月を周知徹底させる。… 氏子狩に限らず支配権を維持するために、いつでも連絡を取れる状態にしておく必要があったと思われる。その取次所ともいうべきものを、江戸においてカバーしていたのではなかろうか。文化五(1808)年、金龍寺から出された「廻章」は、上津具村事件が決着し、「近々そちらの方へも君ヶ畑、蛭谷共に巡回するつもりでいるので初穂料と人足を差し出すように」と記したものであるが、…この江戸橋町二丁目の大国屋平吉が東北木地の取次をやっていたのではないかと思われる。根本地の近江国を発して、目的地の木地小屋へ到るまで、当然宿泊や飲食等の経費を必要としたはずだが、このあたりの事情はどうであろうか。元文五(1740)年蛭谷氏子狩駈帳の奥書にそれを示唆するような記述がある。「…」 回国人は2人で道中諸費用も入れて、400 匁であったことが読み取れる。(会津地方歴史民俗資料館「木地語り」より) (つづく)